

金 剛 石

八代市立第六中学校

学校だより

令和7年5月23日

文責：校長



校訓：「金剛石の光を発揮し、まわりを照らせ」

学校教育目標：「自分を磨き、仲間と繋がり、未来を考える生徒の育成 ～共に成長していく学校～」

スポーツテスト ～成長実感はありましたか～

5月21日（水）は全校生徒でスポーツテストを実施しました。朝から激しい雨となり、グラウンドで行う50m走やハンドボール投げは出来ませんでしたが、体育館で5つの種目に臨みました。和気藹々とした雰囲気の中、「がんばれー」「もう少し！」とお互いに励まし合いながら、よりよい記録を目指して頑張る姿に六中生の素直さと共に温かさを感じることができました。一人一人が昨年度よりも成長を実感できたのではないのでしょうか。心も体も大きく成長する中学生時代、これからも勉強や運動に精一杯取り組みながら日々自分を磨いていってくださることを願います。



1年集団宿泊教室 ～挑戦・団結・笑顔～

5月15日（木）・16日（金）の1泊2日で1年生が集団宿泊教室に行ってきました。協力する態度や主体性を養う大事な行事ですが、1年生38名全員がそろって参加することができました。天候にも恵まれ、全日程予定通りの活動ができました。1日目は水俣病博物館や環境センターの見学、青少年の家に入所後はマリン活動、夕食後はナイトゲーム、2日目は午前中にオリエンテーリングと充実した活動の中で頭と心と体をしっかりと鍛えてきたことなのでしょう。今回の集団宿泊教室の学年テーマ「挑戦・団結・笑顔」を達成できたのではないのでしょうか。学校に到着後の解散式、振り返りの発表では、「礼儀正しくなったと思います。」「施設の方や送迎でお世話になったバスの運転手の方に感謝の心を持つことができました。」「今回の集団宿泊教室で、自分のことだけではなく、周囲のことにも目配りや気配りができるようになりました。」など、出発式の時よりもひとまわり成長した姿を見せてくれました。1年生、そして朝から夜遅くまで生徒を見守り、指導していただいた引率の先生方お疲れ様でした。



「自分を磨く」～当たり前のことを当たり前、継続していくことが大切～

今年度の学校教育目標は六中の校訓を具体化した「自分を磨き、仲間と繋がり、未来を考えていく生徒の育成」です。さて、最初にある「自分を磨く」とはどのようなことでしょうか。よく「心を磨く」「知識・技能を磨く」などと言いますが、床や窓を磨くように目に見えてきれいになっていく様子は確認できません。心や知識・技能が磨かれた様子はその人の言葉や行動など、表現された姿に現れます。では、どうやって磨いていくのでしょうか。それは当たり前のことを当たり前のよう継続していくことだと考えます。早寝・早起き・3度の食事など、当たり前のこと（やるべきこと）を淡々と続けていくこと。向上心を持ちながら部活動や習い事の練習を繰り返していくこと。一回だけ、一日だけでは決して磨かれません。床や窓は汚れている場所を磨き、自分自身は課題となる部分を確認しながら磨き続けていくことできれいになります。日々の生活習慣、学校の授業や宿題、部活動や習い事の練習など、一つ一つを大切にしながら継続していきましょう。そして、自分自身の中にある「よさ」＝金剛石（ダイヤモンド）を磨いていきましょう。

